

# 1 新潟県農業を取り巻く情勢



# 第 1 新潟県農業を取り巻く情勢

## 1 国際的な動き

### (1) 世界の食料の需給動向

～今年度の穀物の期末在庫率は 26.8% で、前年より 0.2 ポイント低下する見込み～

表 1 - 1 - ( 1 ) 穀物の生産量、消費量、期末在庫率の推移

年度	生産量	消費量	期末在庫量	期末在庫率
	(億t)	(億t)	(億t)	(%)
2000/01	18.5	18.7	5.6	30.3
2001/02	18.8	19.1	5.4	28.1
2002/03	18.2	19.1	4.5	23.3
2003/04	18.7	19.5	3.6	18.6
2004/05	20.4	19.9	4.1	20.7
2005/06	20.2	20.3	4.0	19.5
2006/07	20.1	20.5	3.5	17.1
2007/08	21.3	21.1	3.7	17.5
2008/09	22.5	21.7	4.5	20.7
2009/10	22.5	22.2	4.8	21.8
2010/11	22.1	22.4	4.5	20.2
2011/12	23.4	23.3	4.7	20.1
2012/13	23.0	22.9	4.8	21.0
2013/14	25.2	24.2	5.8	24.0
2014/15	25.6	24.7	6.8	27.4
2015/16	25.3	24.6	7.4	30.1
2016/17	26.7	26.1	8.0	30.9
2017/18	26.2	26.0	8.3	31.7
2018/19	26.3	26.4	8.2	31.0
2019/20	26.8	26.7	8.3	30.9
2020/21	27.3	27.5	8.0	29.2
2021/22	28.0	28.0	8.0	28.6
2022/23	27.7	27.7	7.9	28.6
2023/24	28.2	28.2	8.0	28.3
2024/25	28.5	28.7	7.8	27.0
2025/26	29.8	29.6	7.9	26.8

資料：米国農務省「World Agricultural Supply and Demand Estimates」「PS&D」

出典：農林水産省 HP ([http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j\\_zyukyu\\_kakaku/index.html](http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_zyukyu_kakaku/index.html))

注：期末在庫率(%) = 期末在庫量 / 消費量 × 100

注：米国農務省の 2026 年 3 月時点での見通しであり、毎月更新される。

表 1 - 1 - ( 2 ) 世界の人口の見通し

年	世界の推計人口
2020 年	78.9 億人 (100)
2030 年	85.7 億人 (109)
2050 年	96.6 億人 (123)

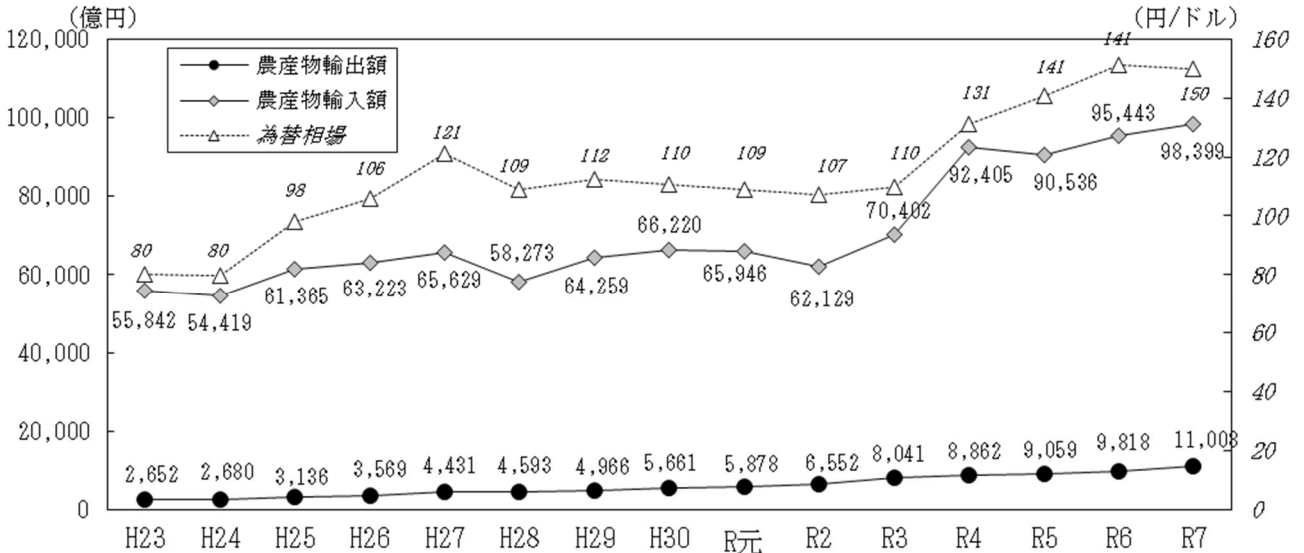
資料：総務省統計局「世界の統計 2025」(<https://www.stat.go.jp/data/sekai/0116.html>)

注：( ) は 2020 年を 100 とした指数

(2) 我が国の農産物の輸出入状況

～ 我が国の農産物貿易は輸出額が増加傾向で、輸入額は近年上昇傾向 ～

図 1 - 1 - ( 1 ) 農産物輸出入額の推移



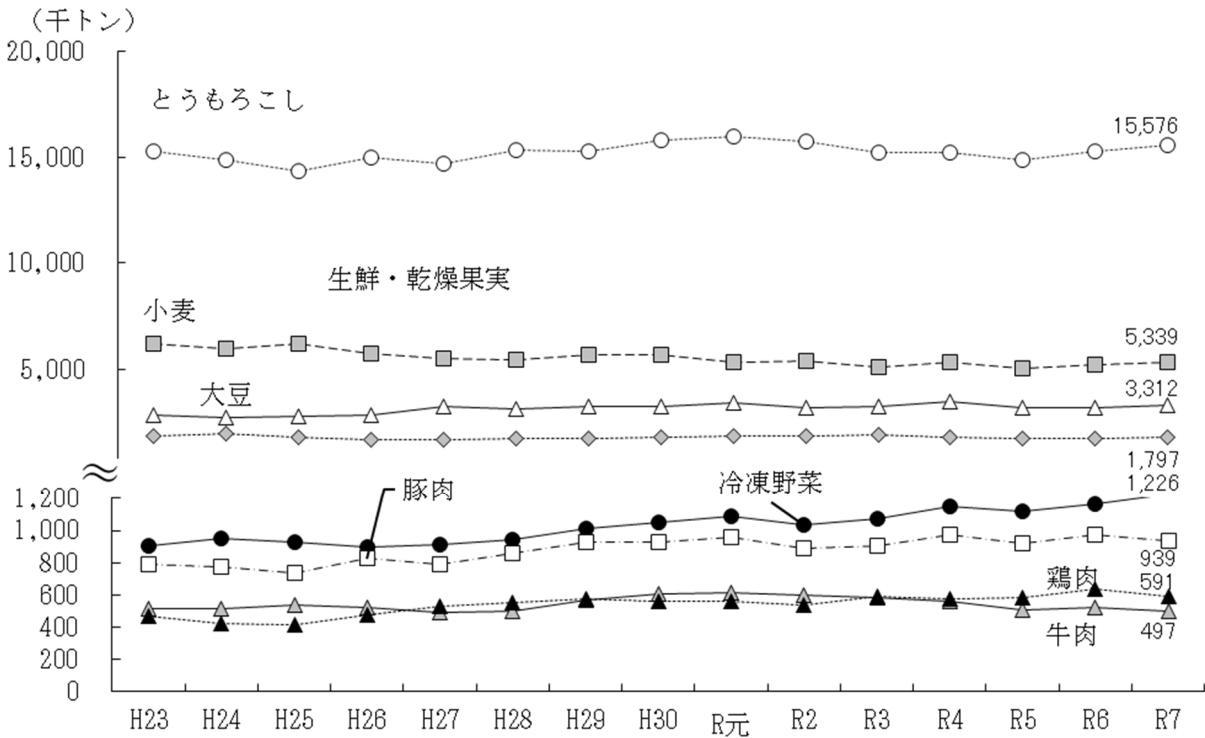
資料：農林水産省「農林水産物輸出入概況」

( <https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html> )

日本銀行時系列統計データ「為替」( <https://www.stat-search.boj.or.jp/> )

注：アルコール飲料、清涼飲料水、菓子（米菓を除く）、たばこ等を含む

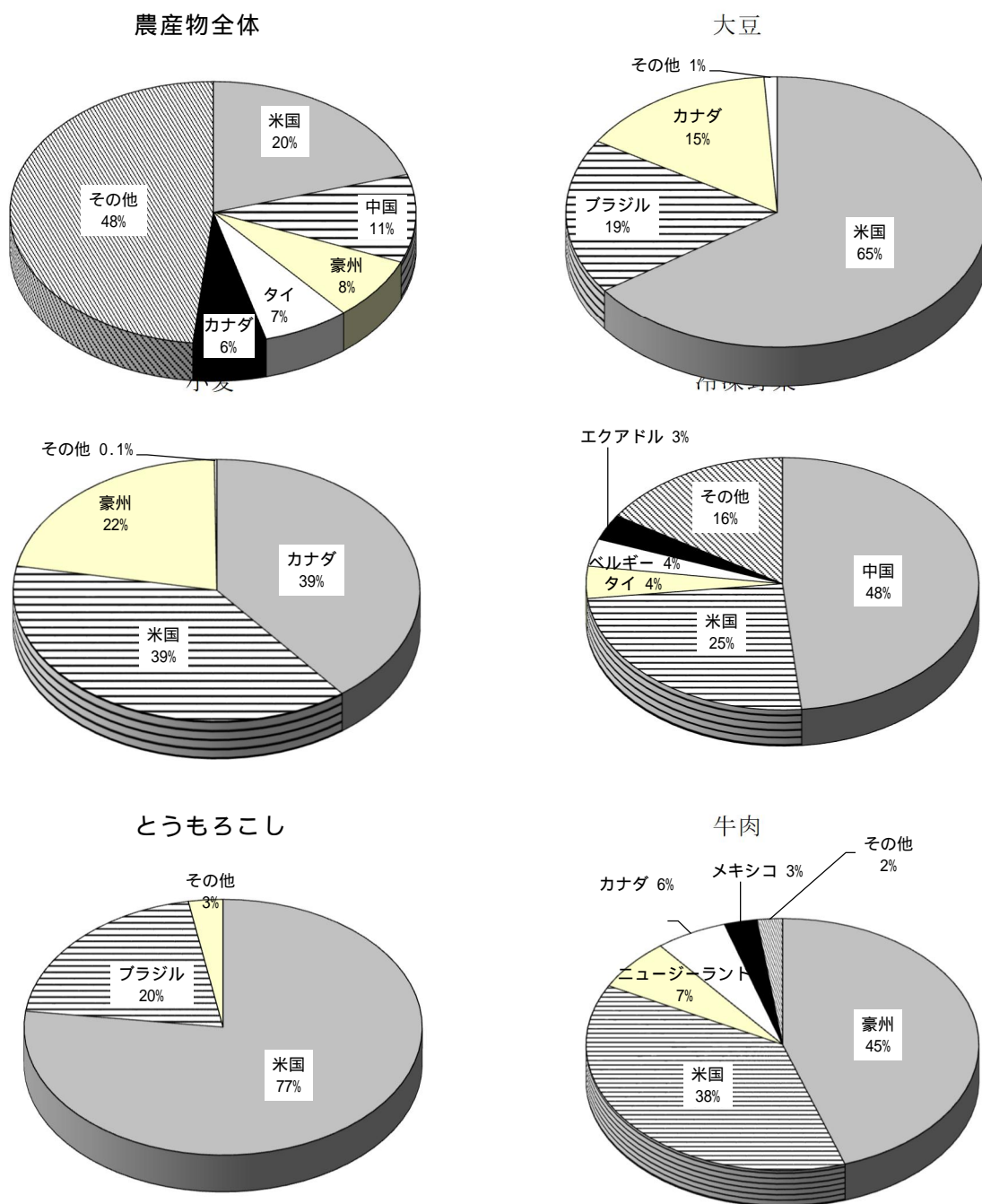
図 1 - 1 - ( 2 ) 品目別農産物輸入量の推移



( [http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/houkoku\\_gaikyou.html](http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/houkoku_gaikyou.html) )

注：穀物には、穀粉（ひき割等を含む）、穀物・穀粉の調整品は含まれない

図 1 - 1 - ( 3 ) 我が国の主要農産物の国別輸入割合 ( 2024 年金額ベース )



資料：農林水産省「農林水産物輸出入概況」

( <https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html> )

注：農産物全体には、羊毛、アルコール飲料、たばこ、天然ゴム及び綿を含む  
ラウンドの関係で合計が 100% にならないことがある

## 2 国内的な動き

### (1) 食料自給率

#### ア 全国の食料自給率

～ 食料自給率(カロリーベース)は前年度と同じ38% ～

表1-2-(1) 主要品目の品目別自給率の推移

(単位：%)

区分	昭和 40年度	50	60	平成 7年度	17	27	令和 2年度	3	4	5	6 (概算)	
主要品目の品目別自給率	米	95	110	107	104	95	98	97	98	99	99	97
	小麦類	28	4	14	7	14	15	15	17	15	17	16
	大豆類	25	9	8	5	7	9	8	8	7	8	8
	大豆	11	4	5	2	5	7	6	7	6	7	7
	野菜	100	99	95	85	79	80	80	80	79	80	78
	果実	90	84	77	49	41	41	38	39	39	38	36
	肉類(鯨肉を除く)	90	77	81	57	54	54	53	53	53	53	53
	牛肉	95	81	72	39	43	40	36	38	39	40	42
	鶏卵	100	97	98	96	94	96	97	97	97	96	97
	牛乳・乳製品	86	81	85	72	68	62	61	63	62	63	63
	魚介類	100	99	93	57	51	55	55	58	54	52	52
	砂糖類	31	15	33	31	34	33	36	36	34	25	32
	穀物(食用+飼料用)自給率	62	40	31	30	28	29	28	29	29	30	29
	主食用穀物自給率	80	69	69	65	61	61	60	61	61	63	61
	供給熱量ベースの総合食料自給率	73	54	53	43	40	39	37	38	38	38	38
生産額ベースの総合食料自給率	86	83	82	74	69	66	67	63	58	61	64	
飼料自給率	55	34	27	26	25	28	25	26	26	27	26	

資料：農林水産省「食料需給表」

注1：品目別自給率、穀物自給率及び主食用穀物自給率の算出は次式による。

$$\text{自給率} = \text{国内生産量} / \text{国内消費仕向量} \times 100 \text{ (重量ベース)}$$

注2：供給熱量総合食料自給率の算出は次式による。ただし、畜産物については、飼料自給率を考慮して算出している。

$$\text{自給率} = \text{国産供給熱量} / \text{国内総供給熱量} \times 100 \text{ (熱量ベース)}$$

注3：生産額ベースの総合食料自給率の算出は次式による。ただし、畜産物及び加工食品については、輸入飼料及び輸入食品原料の額を国内生産額から控除して算出している。

$$\text{自給率} = \text{食料の国内生産額} / \text{食料の国内消費仕向額} \times 100 \text{ (生産額ベース)}$$

注4：飼料自給率については、TDN(可消化養分総量)に換算した数量を用いて算出している。

表1-2-(2) PFC熱量比率の推移

(単位：%)

	昭和 40年度	50	60	平成 7年度	17	27	令和 2年度	3	4	5	6 (概算)
たんぱく質	12.2	12.7	12.7	13.3	13.1	12.9	13.8	13.7	13.7	13.7	13.7
脂質	16.2	22.8	26.1	28.1	28.9	29.6	32.5	32.2	31.4	31.4	30.9
炭水化物	71.6	64.5	61.2	58.6	58.0	57.5	53.7	54.1	54.9	54.9	55.4

資料：農林水産省「食料需給表」

イ 新潟県の食料自給率

～ 本県の食料自給率(カロリーベース)は3ポイント減少し114%～

表1-2-(3) 新潟県の食料自給率の推移

(単位：%)

	平成 12年度	17	27	令和2年度	3	4	5 (概算)
カロリーベース	92	94	105	111	109	117	114
生産額ベース	115	117	99	111	100	97	95

資料：農林水産省「都道府県別食料自給率の推移」

(2) 食料消費の動向

～ 米の消費量は前年度より3.1kg増加～

ア 供給熱量の推移

表1-2-(4) 国民1人当たり供給熱量の推移

年度	国民1人・1日あたり供給栄養量				国民1人・1年あたり供給純食料						
	熱量 (kcal)	うち米 の比率 (%)	たんぱ く質(g)	うち 動物性	脂質 (g)	米 (kg)	野菜 (kg)	果実 (kg)	肉類 (kg)	牛乳・ 乳製品 (kg)	
昭和40年度	2,458.7	44.3	75.0	25.9	44.3	111.7	108.1	28.5	9.2	37.5	
50	2,518.3	34.0	80.3	35.0	63.9	88.0	110.7	42.5	17.9	53.6	
60	2,596.5	28.0	82.1	41.2	75.4	74.6	111.7	38.2	22.9	70.6	
平成7年度	2,653.8	24.9	87.9	48.3	82.7	67.8	106.2	42.2	28.5	91.2	
17	2,572.8	23.3	84.0	46.2	82.8	61.4	96.3	43.1	28.5	91.8	
27	2,416.1	22.1	77.7	43.1	79.2	54.6	90.4	34.9	30.7	91.1	
令和2年度	2,270.0	20.9	78.0	43.8	81.9	50.8	89.1	34.1	33.5	93.7	
3	2,265.7	21.3	77.6	43.6	81.0	51.4	88.1	32.4	34.0	94.4	
4	2,252.4	21.1	77.0	42.8	78.6	50.9	87.8	33.3	34.0	93.9	
5	2,197.1	21.4	75.5	42.1	76.7	50.3	84.7	31.2	33.9	90.1	
6 (概算値)	2,248.1	22.3	76.9	42.3	77.1	53.4	83.3	30.1	34.3	90.7	
増 減 年 率 (%)	50/40	0.2	△ 1.0	0.7	3.5	4.4	△ 2.1	0.2	4.9	9.5	4.3
	60/50	0.3	△ 0.6	0.2	1.8	1.8	△ 1.5	0.1	△ 1.0	2.8	3.2
	7/60	0.2	△ 0.3	0.7	1.7	1.0	△ 0.9	△ 0.5	1.0	2.4	2.9
	17/7	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.4	0.0	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.2	0.0	0.1
	27/17	△ 6.1	△ 5.2	△ 7.5	△ 6.7	△ 4.3	△ 11.1	△ 6.1	△ 19.0	7.7	△ 0.8

資料：農林水産省「食料需給表」、五訂日本食品標準成分表の公表により昭和60年度まで改訂。

注1：「純食料」とは、通常廃棄される部分を除いた、人間の消費に直接利用可能な食料の形態の数量を表している。

注2：令和元年度以降の供給熱量は、「日本食品標準成分表2020(八丁)」を参照しているが、単位熱量の算定方法が大幅に改定されているため、それ以前と比較する場合は留意されたい。

イ 食料消費支出

表1 - 2 - (5) 1世帯当たり1か月間の食料費支出（二人以上の世帯、全国）

（単位：円）

年	総支出費	食料費	主食費		副食費	嗜好品費	外食費		
			うち米類	うち調理食品					
昭和55年	230,568	66,932	9,915	5,822	719	35,437	3,158	13,104	8,467
60	273,114	73,735	11,065	6,233	1,075	37,825	3,738	14,419	10,427
平成2年	311,174	78,956	10,946	5,144	1,825	39,746	4,588	15,916	12,349
7	329,062	77,886	11,076	4,331	2,528	38,610	4,806	15,559	12,643
12	317,133	73,844	10,399	3,291	3,080	35,924	4,883	15,074	12,448
17	300,531	68,699	9,719	2,640	3,265	32,992	4,863	14,490	11,498
22	290,244	67,563	9,649	2,276	3,276	31,983	4,735	14,523	11,410
29	283,027	72,866	10,125	1,885	3,982	35,137	5,653	15,701	11,902
30	287,315	73,977	10,360	1,948	4,094	35,308	5,822	16,063	12,247
令和2年	277,926	76,440	11,160	1,929	4,490	37,843	6,266	17,848	9,587
3	279,024	75,761	11,191	1,763	4,802	37,131	6,561	18,058	9,380
4	290,865	77,474	11,367	1,592	5,024	36,933	6,721	18,294	10,881
5	293,997	81,738	11,826	1,632	5,275	38,135	7,033	19,125	12,653
6	300,243	85,000	12,673	2,164	5,448	38,898	7,208	19,748	13,720
対R5年比	102	104	107	133	103	102	102	103	108
対S55年比	130	127	128	37	758	110	228	151	162

資料：総務省「家計調査年報」

注：「家計調査年報」の「穀類、主食的調理食品」を主食、「魚介類、肉類、乳卵類、野菜・海草、油脂・調味料、調理食品（主食的調理品を除く）」を副食品、「果物、菓子類、飲料、酒類」を嗜好品とし、「外食」は外食として算出